

# ガルモハル

JAPANESE SCHOOL OF MUMBAI  
Unit No.201/202,Hiranandani Knowledge Park,  
Technology Street,Near Dr.L.H.Hiranandani-  
Hospital,Powai,Mumbai-400076.India  
TEL 022-6694-0630 FAX022-6221-5107

4 May/2023 NO2

めざせ！「ムンバイ日本人楽幸！！」

笑顔あふれる楽しい幸せなムンバイ日本人学校

校長 佐藤 義朗

新型コロナウイルス感染症の流行、国と国との間に起きている戦争、地球温暖化による気候変動が引き起こす自然災害等々、持続可能な世の中にするために、私たち人間が本気になってその解決のために取り組んでいかなければならない時期にきています。そのため、子どもたちにはこれらの事象を他人ごとと捉えず、当事者意識をもって「自分たちに何ができるか？」を考えさせる教育活動を推進する必要があります。

教育には、二つの基本的な考え方（目標）があると考えます。

一つは、子どもたちあるいは、教育を受ける側のもって生まれた能力を最大限に引き出すこと。もう一つは、家族・社会・国民・地球市民として、その引き出された個性・能力を社会化し、世の中に貢献する人材を育成すること。

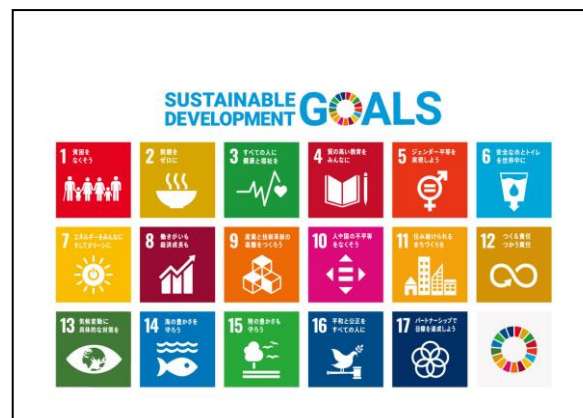
この二つのバランスをとりながら、知・徳・体の三つにわたって教育をおこなっていくことが大切です。そして二つ目の具体的な指針となるものが、SDGsの17の項目の目標であると考えます。

ムンバイ日本人学校では、17の目標を教育活動とリンクさせ「持続可能な未来」にするために、教師も子どもたちも「SDGsの17の目標」を教育活動と関連させ価値づけを行いながら持続可能な社会の担い手を育てていきます。

人間が「笑顔で 楽しい 幸せ」と感じるのは、社会に貢献し、人のために役立ち、自己存在の意義を感じた時と考えます。

さっそく、学校では、子どもたちが17の目標を意識し、自分たちにできる取組（例：節電、節水等）を考え、取り組もうとしています。

上記を基に校訓である「育てよ 大きくのびやかに」そして、学校教育目標の「生きる力を身に付け、自ら学び続けようとする、国際性豊かな児童・生徒の育成」の実現を図っていきます。





## 令和5年度ムンバイ日本人学校スタート！



元気なインド国歌が響き渡った入学式。令和5年度がスタートして1ヶ月ほどが経ちました。ムンバイ日本人学校では新入・編入児童生徒と教員を迎え、ますます活気が出てきました。今年はここしばらくコロナ対策でできていなかった、保護者との顔合わせ会も入学式と同日に行いました。月末の保護者会はオンラインで行いましたが、一番最初に対面でのご挨拶ができたことで、保護者の方々ともより近くなれた気がします。

新しい友達がやって来れば、新天地で頑張ることになった友達も。月末には「お別れ会」がありました。クラスのお友達からのメッセージと記念品が渡され、花道を作って友達を送ってあげました。

昨年度まではコロナ禍の中、行事を控えていた部分もありましたが、今年度は少しずつ行っていく予定です。今までとは違った形や内容になることがあるかもしれませんが、新しいスタッフで皆様の知恵もお借りしながら子供たちのために取り組んでいきたいと考えています。



入学式 小学部1年生の入場



中学部の新入生 きりっとしてますね



編入生歓迎会 仲間が増えました

## 避難訓練・テロ対応訓練を行いました

先月は避難訓練（火災想定）・テロ対応訓練を行いました。いずれの訓練も、児童生徒たちは真剣に取り組み、落ち着いて行動することができました。また、テロ対応訓練では、在ムンバイ総領事館から甲谷領事にお越しいただき、貴重なお話を伺うことができました。平成20年11月のムンバイでの同時多発テロにおいて、外国人向けのホテルや鉄道・駅など複数の場所がイスラム過激派とみられる勢力に銃撃、爆破された事件があったことや、テロ事件に遭遇してしまった時の行動原則、Run・Hide・Tell（反対方向へ走る・隠れる・伝える）など、日本では思いもつかなかったものばかりで、児童生徒だけでなく、学校職員にとっても大変勉強になるものでした。インド国内の中でもムンバイのPowaiは、治安が良いほうだと聞いています。ですが、普段は平和にのんびり暮らすインドの人々でも、民族問題・宗教対立・貧富の差などの問題を抱えており、戦争やテロ・ストライキや暴動などの危険性を常に考えておく必要があると感じました。日頃から国際情勢に気を配ったり、インド国内のニュースに注意したりして、敏感な意識を持ちたいと思います。



鼻と口をしっかりとふさいで避難



真剣に話を聞く児童生徒



テロ対応訓練 話の後、いろいろな質問が出ました